

2013年9月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2013年11月19日
在ドミニカ共和国日本国大使館

1. 内政

(1) 国軍及び国家警察人事

ア. 7日、大統領府は、8つの大統領令により国軍及び国家警察の合計38名の将軍、259名の大佐の役職を解任した。

イ. 8日、大統領府は、国軍及び国家警察の合計7,890名の昇格人事を発表した。

(2) 緊縮財政の継続

13日、メディーナ大統領は、2012年8月22日発出の大統領令499-12を延長し、中央政府のみならず地方政府も本年12月31日まで緊縮財政を継続する旨発表した。

(3) 世論調査

16日から22日にかけて、ギャロップ社・オイ紙による世論調査の結果が発表された。9月6日から11日実施、全国18歳以上の成人1,200名へ対面インタビュー、誤差は±2.8%。主な結果は以下の通り。

- ・メディーナ政権1年目を86%の国民が評価
- ・国家が抱える大きな問題は、インフレ、犯罪、失業、停電であると認識されている
- ・2016年大統領選PLD候補として、メディーナ大統領が一番多くの支持を得た

(4) 国会の動き

18日、上院は、911番国家緊急電話網制度法案を承認し、法律となった。緊急時に、911番に電話を掛けることでサービスを受けられるようになる。

(5) 憲法裁判所

23日、憲法裁判所は、当国に違法滞在している、あるいは一時滞在中(en tránsito)の両親から出生した子供はドミニカ共和国国籍を保有していないと判決(TC/168/13)を下した。判決は国外において大きな反響を生み、アムネスティインターナショナルは、憲法の効力が遡及する事に驚くとともに、この判断は司法というよりも政治判断であると批判した。当地国連代表は、憲法裁判所判決がドミニカ共和国が批准している国際条約と整合性がとれているか精査すると発表した。

30日、ハイチ政府は、シネアス在ドミニカ共和国・ハイチ大使を呼び戻し憲法裁判所判決の内容につき説明を求めた。

(6) 抗議

ア. 6日、サントドミンゴ西部のロス・トレス・ブラソスの住人が、20時間にも及ぶ停電に抗議にして電力公社事務所に放火をした。

イ. 30日、ドミニカ医師会は、全国の公立病院で2014年の給与アップを要求して72時間のストライキを行った。数千人の患者が、3日間医療サービスを受けることが出来なかった。

(9) 治安関係

ア. 2日、国家警察及び国家捜査局は、サンクリストバル県（サントドミンゴ西隣）において、カリブ地域において最も広大で精巧な作りのコカイン精製所を発見し、これまでにコロンビア人2名を逮捕した。精製所には、225キロのコカインが残っていた。

イ. 2日、内務警察省は、上半期の強盗殺人発生件数は前年度期に比較して67%上昇したと発表した。殺人の主な原因は、喧嘩で31%、強盗に絡む殺人が16%であった。窃盗の届出は、前年同期比15%上昇した。

ウ. 30日、麻薬取締り局は、1,315キロのコカイン、1,916キロのクラック、623キロのマリファナを6月から9月にかけて没収し、6,633名を麻薬がらみで逮捕したと発表した。

2. 外交

(1) モラレス外務大臣の病氣療養

23日、外務省プレスリリースは、モラレス外務大臣が病氣療養のため米国に数週間滞在すると発表した。トルジョールス筆頭外務次官が外相臨時代理を務める

(2) メディーナ大統領の国連総会欠席

22日、ロドリゲス大統領府報道官は、メディーナ大統領が2014年予算案の閣僚審議の為、第68回国連総会の出席を取りやめる旨発表した。

(3) モンテージャ大統領夫人の外遊

ア. 17日から22日、モンテージャ大統領夫人は、カバコ・シルバ・ポルトガル大統領夫人の招きでポルトガルを訪問。モンテージャ大統領夫人は、障害者支援施設で働く指導者、技能者の技能を向上させるためポルトガルから支援を得ることに合意した。

イ. 23日から27日、モンテージャ大統領夫人はニューヨークを訪問し国連関係者との会合に出席、第6回世界自閉症年次総会に出席した。

(4) 新大使の信任状捧呈

3日、カジェス・エルサルバドル大使、バレーラ・チリ大使、マンスール・イスラエル大使、ドゥルネン・オランダ大使、カムソン・ナイジェリア大使、マナナ・南アフリカ大使、オブダール・ノルウェー大使が、メディーナ大統領に信任状を捧呈した。

(4) ハイチ関係

ア. 4日、パレ・ペレス国防大臣は、3日に70名のハイチ人を乗せてプエルトリコに向かっていた船を拿捕した旨発表した。船は没収し、不法入国を計画した主導者を逮捕、乗船していた旅券不所持のハイチ人はハイチへ送還された。

イ. 14日、ドミニカ共和国とハイチ両国の国家警察長官は、組織犯罪、麻薬密輸、人身取引、車両盗難、武器売買といった両国を脅かしている問題に協力して対処するため、今後半年ごと両国の警察が会合する機会を設けることに合意した。

ウ. 28日、国軍は、2012年8月から2013年9月までに4万7千7百名のハイチ人が当国に違法入国したと発表した。2012年の強制送還者数は、2万人程度であった。

3. 経済

(1) 2014年予算案

ア. 25日、メディーナ大統領は、2014年予算案を協議するため閣僚会合を開いた。レジエス予算局長によると、2014年は歳入4,230億ペソ（GDP比15.3%）、歳出5,009億ペソ（同18.2%）と予想し、財政赤字額は今年同様GDP比2.8%を目標とする。為替は、1米ドル当たり44.04ペソ。GDP成長率は、4.5%を予想。

イ. 30日、リサルド財務大臣は、2014年予算案を上院に提出した。ドミニカ共和国憲法では、政府は毎年10月1日までに予算案を提出しなければならないとされている。

(2) フリーゾーン

ア. 4日、米国企業VFと台湾企業Hong Fu Groupは、サンティアゴ県タンボリル・フリーゾーン地区に年間2,000万足のVANSシューズを製造する工場建設を行うと発表。投資額は、3,500万米ドル、2014年から操業し1万1,500名を雇用する予定。DR-CAFTAを活用して、主に米国向けに輸出。

イ. 10日、カナダの縫製企業ギルダン社は、ラスアメリカスIIフリーゾーン地区に、2億9百万ペソ（約492万米ドル）投じて第3工場を建設し、開所式を行った。800名を雇用する予定。また、本年11月にサンペドロ・デ・マコリス県に10億ペソ（約2,353万米ドル）投じて、1,800名を雇用する新工場を建設することも発表した。ギルダン社の年間輸出額は、現在約4億米ドルであり、これらの新工場稼働により輸出額は2割ほど伸びると予想している。

ウ. 17日、カスティージョ商工大臣は、サントドミンゴ、サンティアゴ、プエルトプラタにおけるフリーゾーン企業7社が、生産拡大を図るために2,500万米ドルの投資を行い新たに3,500名の雇用を創出していると述べた。7企業は、Fenwal, Eaton & Timberland, Nearshore Teleservices, Spirit Apparel, Korchmar, Velas Hispaniolaとなっている。

(3) 観光

ア. 5日、ガルシア観光大臣は、チェコ航空が2013年-2014年冬期からエア・ヨーロッパと提携してプラハ-サントドミンゴ間に定期就航便を週4便設けると発表した。プラハからマドリッド間をチェコ航空、マドリッドからサントドミンゴ間をエア・ヨーロッパが担う。

イ. 11日、メディーナ大統領は、エルサルバドルのPOMAグループによって建設されるリアル・インターコンチネンタルホテルの起工式に出席した。同ホテルは、首都サントドミンゴの中心地のウィンストンチャーチル通りに建設される。

ウ. 22日、エレラ・ドミニカ民間航空機構(Instituto Dominicano de Aviación Civil)理事長は、ブラジルのゴル航空が当国の戦略的位置から当国の空港をハブ空港として利用する考えがあると述べた。また、機構は、ゴル航空が10月末からドミニカ共和国-メキシコ間に直行便を就航出来るよう現在努力しているとも発表した。

エ. 24日、ガルシア観光大臣は、ドミニカ共和国-フランス間においてエア・カリブが1便の増便、NG Travel社が2014年に新規就航、エールフランスが3便の増便をすると出席していたパリ国際観光展において発表した。フランスは、ドイツに次いで多くの観光客が当国を訪問している。

(4) 鉱業

5日、ドミニカ共和国政府とバリックゴールド社は最終合意に至り、政府はバリックゴールドから全操業期間を通して116億1,500万米ドル(1オンス1,600米ドルで計算した場合)の税収入を得る事になった。右は、バリックゴールド社の純利益の51.3%に相当する。

(5) 農業

2日、ロドリゲス農務大臣は、カカオの国際市場価格が上昇したことから、ドミニカ共和国産のカカオの輸出額が1億米ドルを超えたと述べた。現在、当国ではカカオを年間7万トン生産し、そのうち4万5千トンが輸出されている。

(6) 国際関係

ア. 5日、8月27日マイアミにおいて行われたドミニカ共和国とハイチの2ヶ国間企業家会合のフォローアップをドミニカ共和国外務省で行った。両国は、定期的に企業家会合を持つことに合意し、次回は10月第1週にポルトープランスで行う予定。

イ. 12日、台湾のKung-Shih Yeh 運輸通信大臣が、観光企業、ゴルフ場建設企業、ヨット建造企業、航空会社及びメディア等のミッションを連れてメディーナ大統領を表敬し、台湾が観光セクターに投資する用意があると述べた。

ウ. 26日、メディーナ大統領は、Yu Ping 中国国際貿易促進委員会副議長が率いる40社以上、企業家87名からなる中国企業ミッションの表敬を受けた。中国企業ミッションは、第5回中国貿易展示会に参加するために当国を訪問した。

エ. 27日から29日、第5回中国貿易展示会が開催され、11万人ほどが来場した。今回の展示では、初めて中国車(BYD, Lifan, Brilliance, Chana, Great Wall, Haim 等)が出展され、期間中の自動車の売上が7,680万ペソ(約181万米ドル)に上った。

(7) 電力

ア. 22日、メディーナ大統領は、総発電能力430メガワットのキスケジャ電力パークの開所式に出席した。キスケジャ電力パークは、バリックゴールド社所有のキスケジャIの215メガワットとEGE-HAINA 所有のキスケジャIIの215メガワットからなり、投資額は290億ペソ(約6億8千2百万米ドル)であった。

イ. 25日、コロンビア企業 Promigas のアントニオ・セイラ社長は石油火力発電所を天然ガス発電所に変換する事業として、5-6億米ドルの投資をする用意があり、現在パイロット事業を実施するための調査を進めていると述べた。Promigas 社は、当国の Vicini Group や Propagas 等と提携している。

(別添1) 経済指標

(別添2) 疾病発生状況

(了)